

住江織物株式会社

Suminoe Textile Co., Ltd.

証券コード：3501

Suminoe Report



第122期 中間報告書

平成22年6月1日▶平成22年11月30日

ごあいさつ

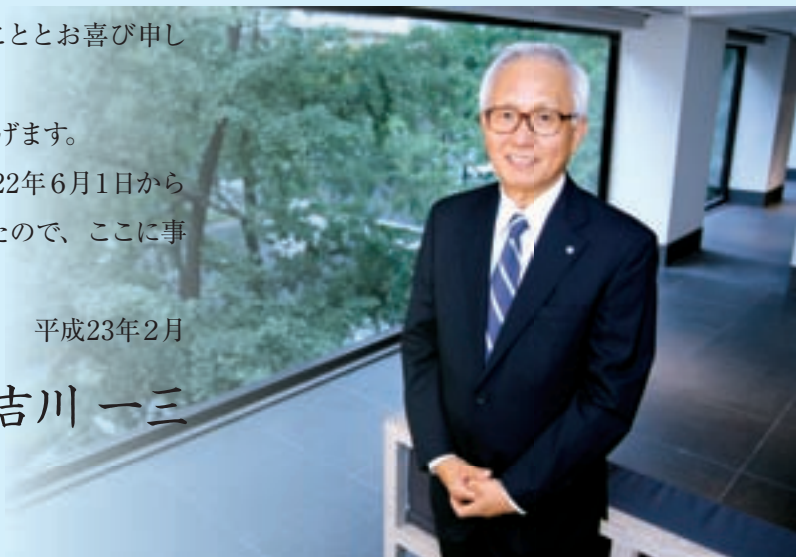
株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申しあげます。

さて、このたび当社第122期上半期（平成22年6月1日から平成22年11月30日まで）の決算を終えましたので、ここに事業の概況をご報告申しあげます。

平成23年2月

取締役社長 吉川 一三



業績のご報告

当第2四半期におけるわが国経済は、企業業績の持ち直しと製造業を中心とした民間設備投資の増加により、緩やかな回復となりましたが、円高基調によって輸出産業の収益力が低下し、雇用環境では失業率が高止まりを続けるなど、先行きに不透明さを残しました。

このようななか、当期からスタートした中期経営計画“Challenge 2012”の基本方針のもと、グルー

プ全社が一丸となり、新たな気持ちで諸施策に積極的に取り組んだ結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高371億1千2百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益8億2千7百万円（同7.5%増）、経常利益10億7千1百万円（同43.6%増）、四半期純利益4億2千6百万円（同32.0%増）となりました。

■ 事業セグメントの概況

● インテリア事業

オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーペットでは、リサイクルタイルカーペット「SG-300」、「SG-400」をはじめとした環境にやさしい商品が販売数量を伸ばし健闘したものの、新築、リニューアル工事が減少したため低調となり、また、一般家庭向けカーペット、ラグマットでは、消費マインドの冷え込みに加え、長引く猛暑の影響により、ともに売上高は前年同期を下回りました。カーテンでは、7月に発表した新作「mode S (モードエス) VOL.5」が堅調に推移し、コントラクトカーテン「Face Vol.16+ (プラス)」が医療・福祉・教育施設で受注を増やしたことから、前年同期を上回りました。壁紙では、消臭性能を向上させた「空気を洗う壁紙® +プラスケア」を7月に、デザインを重視した「不燃認定壁紙1000 Vol.7」を10月に発売し、好調な売れ行きとなりましたが、売上高は前年同期をわずかに下回りました。

以上の結果、インテリア事業では、売上高161億7千8百万円、営業利益2億8千1百万円となりました。

● 自動車・車両内装事業

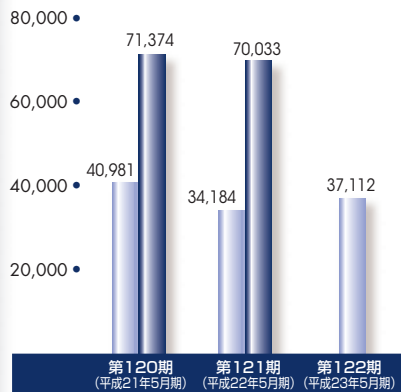
自動車関連では、エコカー補助金制度の終了に伴い、国内自動車販売台数の減少が見られましたが、当社の自動車向けカーペット事業と、シート表皮材事業のスミノエ テイジン テクノ株式会社は、売上高および営業利益ともに堅調に推移しました。海外では、米国子会社STA (Suminoe Textile of America Corporation) の売上高が前年同期を上回り、営業利益も順調に改善しましたが、中国では、SPM (住江互太 (広州) 汽車繊維製品有限公司) が売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

車両関連では、鉄道車両向けは、新車向けの内装材需要は堅調だったものの、リニューアル需要は鉄道各社の安全対策費の増加の影響などから低迷しました。バス向けは、第1四半期は排ガス規制前の駆け込み需要がありましたが、第2四半期連結累計期間ではその反動によって売上高が減少しました。一方、床面の防滑マット等に使用されるオレフィン系フィルムを中心とした新規商材は売上高が増加しました。

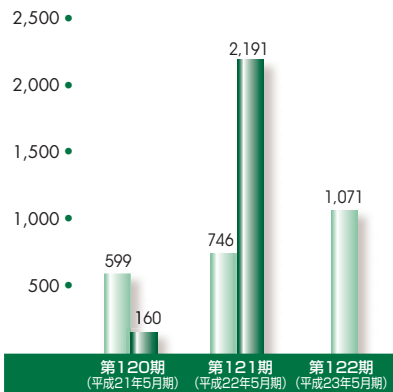
以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高187億

業績の推移 (連結)

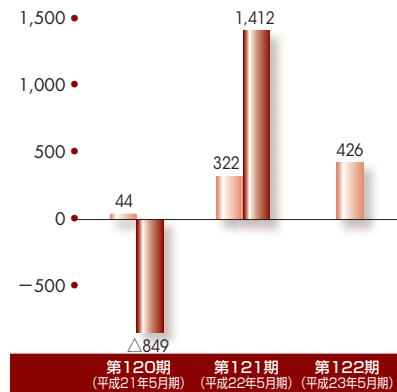
■ 売上高 ■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 百万円)



■ 経常利益 ■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 百万円)



■ 純利益 ■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 百万円)



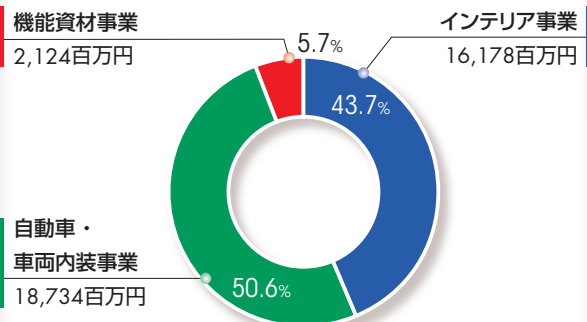
3千4百万円、営業利益10億8百万円となりました。

● 機能資材事業

ホットカーペット事業は、残暑の影響により生産総量が減少するなか、市場シェアは拡大したものの、売上高は前年同期を下回りました。タイルカーペットのOEM事業は、国内市場が低迷を続け、売上高が減少しましたが、海外向けは数量・売上高とも大幅に増加したため、前年同期並みとなりました。

以上の結果、機能資材事業の売上高は21億2千4百万円、営業利益8千7百万円となりました。

事業セグメント売上高



■ 配当について

株主のみなさまへの利益還元を重要な経営課題と位置付け、安定的な配当と業績の動向を勘案しながら、適正な成果の配分を実施いたします。この基本方針のもと、当第2四半期累計業績を踏まえ、中間配当を1株につき2円50銭とさせていただき、期末配当についても1株につき2円50銭を予定しております。

■ 取り組んでいる課題

◆自動車内装事業のグローバル戦略を加速

中期経営計画“Challenge 2012”の最重要課題である自動車内装事業のグローバル戦略の一環として、中国とインドに新会社を設立いたしました。中国の住江織物商貿(上海)有限公司は、シート表皮材、カーペット、カーマットといった自動車用内装材と、鉄道車両用シート表皮材等の中国市場における販売と資材調達を担い、インドのSUMINOE TEIJIN TECHNO KRISHNA INDIA PVT.LTD.は、インド市場での自動車用シート表皮材の販売を行ってまいります。自動車産業の成長著しい両国で販売を強化し、市場の開拓を推進してまいります。

また、アジア圏における重要拠点として1994年に合併で設立したタイのT.C.H.Suminoe Co., Ltd.と、2003年にカーマット等の製造会社として合併で設立した中国の蘇州住江小出汽車用品有限公司を当期から連結対象子会社としました。2社の連結子会社化によって、当事業のより機動的な経営とグループの連携強化を図ってまいります。

今回の新会社設立と子会社化への取り組みは、当社業績への寄与はもとより、自動車内装事業のグローバル戦略を加速するものであります。海外事業展開の中心である米国子会社のSTA、中国子会社のSPMに上記の4社、インドネシアのPT. Sinar Suminoe Indonesiaを加え、自動車内装材の世界最適供給体制を一層強化し、世界での市場シェアの

■ 当期の見通しについて

拡大を目指してまいります。

◆ 中期経営計画 “Challenge 2012”

2010年6月よりスタートした中期経営計画 “Challenge 2012” では、その基本テーマである「収益体質の強化」と「グローバル戦略」をもとに、インテリア事業では、当社が得意とする環境にやさしい商品を中心とした販売強化と収益力の向上、自動車・車両内装事業では、海外事業展開の積極推進による海外売上高比率のアップ、機能資材事業では、ホットカーペットの市場シェア拡大と、独自消臭加工技術トリプルフレッシュ® バイオフィルターの新たな用途展開等、各事業において事業強化と拡大に向けた挑戦を積極的に行ってまいります。

米国と欧州各国の景気が停滞し、国内でも円高進行が輸出産業に影響を与え、デフレから脱しきれない状況が続いております。先行き不透明な状況のなか、インテリア事業では引き続き需要の縮小が予想され、また、自動車・車両内装事業でもエコカー補助金制度が終了した影響から需要減が見込まれます。厳しい状況下での事業推進となりますが、中期経営計画 “Challenge 2012” の初年度目標である、売上高740億円、営業利益18億5千万円、経常利益21億5千万円、当期純利益13億5千万円の達成に向け、グループ全社一丸となって取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画 “Challenge 2012”

単位：百万円

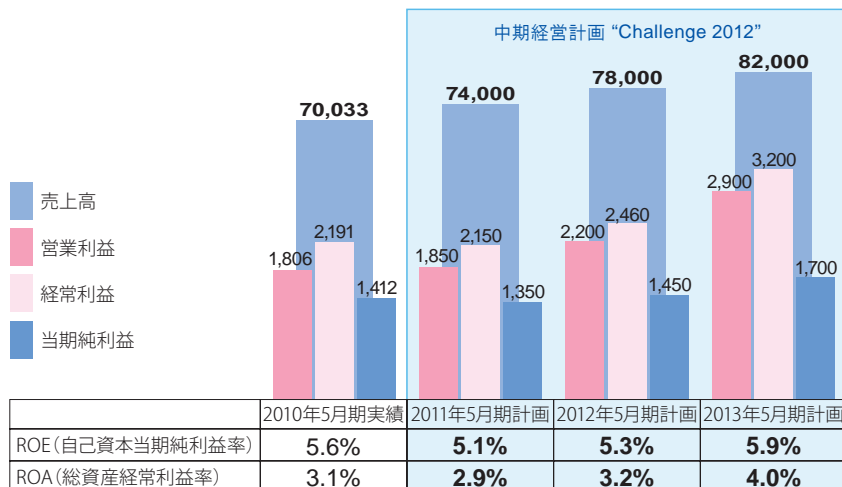
■ 連結数値目標

3カ年の目標

売上高は年5%以上の成長

中長期の目標

- 営業利益率5%以上
- ROE（自己資本当期純利益率）7%以上
- ROA（総資産経常利益率）5%以上



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期 (平成22年11月30日現在)	前期 (平成22年5月31日現在)	科目	期別	当第2四半期 (平成22年11月30日現在)	前期 (平成22年5月31日現在)
【資産の部】				【負債の部】			
流動資産		40,848	40,827	流動負債		29,581	30,352
現金及び預金		7,241	8,284	支払手形及び買掛金		16,295	15,334
受取手形及び売掛金		20,858	18,676	短期借入金		9,830	10,196
有価証券		374	774	その他		3,455	4,821
たな卸資産		9,771	10,071	固定負債		16,377	15,781
その他		2,646	3,078	長期借入金		5,671	5,157
貸倒引当金		△44	△58	再評価に係る繰延税金負債		5,445	5,445
固定資産		33,146	33,556	退職給付引当金		3,483	3,417
有形固定資産		25,107	25,233	その他		1,777	1,761
建物及び構築物		4,052	4,238	負債合計		45,959	46,134
機械装置及び運搬具		1,928	2,148	【純資産の部】			
土地		18,270	18,273	株主資本		18,730	18,495
その他		857	572	資本金		9,554	9,554
無形固定資産		357	357	資本剰余金		2,652	2,652
投資その他の資産		7,681	7,965	利益剰余金		6,851	6,614
投資有価証券		4,912	5,199	自己株式		△327	△325
その他		3,022	3,021	評価・換算差額等		6,812	7,388
貸倒引当金		△252	△254	その他有価証券評価差額金		285	496
資産合計		73,995	74,383	繰延ヘッジ損益		△34	△19
				土地再評価差額金		7,184	7,184
				為替換算調整勘定		△622	△272
				少数株主持分		2,491	2,365
				純資産合計		28,035	28,249
				負債及び純資産合計		73,995	74,383

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

COMMENTS

■ 資産の部

資産の部につきましては、前期末に比べ3億8千8百万円減少し、739億9千5百万円となりました。

流動資産は2千1百万円の増加となり、主に売上債権が増加した一方で、現金及び預金、たな卸資産が減少したことによるものです。

固定資産は4億9百万円の減少となり、主に減価償却による有形固定資産の減少および時価評価により投資有価証券が減少したことによるものです。

■ 負債の部・純資産の部

負債の部につきましては、前期末に比べ1億7千4百万円減少し、459億5千9百万円となりました。主に、仕入債務が増加した一方で、社債を償還したことによるものです。

純資産の部につきましては、前期末に比べ2億1千3百万円減少し、280億3千5百万円となりました。主に、四半期純利益により利益剰余金が増加したものの、その他有価証券評価差額金および為替換算調整勘定が減少したことによるものです。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期 (平成22年6月1日から 平成22年11月30日まで)	前第2四半期 (平成21年6月1日から 平成21年11月30日まで)
売上高		37,112	34,184
売上原価		28,706	26,472
売上総利益		8,405	7,712
販売費及び一般管理費		7,578	6,942
営業利益		827	769
営業外収益		443	325
受取利息及び配当金		76	73
負ののれん償却額		45	—
持分法による投資利益		31	—
不動産賃貸料		120	117
その他		169	134
営業外費用		198	348
支払利息		115	122
持分法による投資損失		—	82
不動産賃貸費用		30	45
その他		52	98
経常利益		1,071	746
特別利益		40	2
特別損失		213	128
税金等調整前四半期純利益		898	620
法人税、住民税及び事業税		169	177
法人税等調整額		188	66
少数株主利益		114	53
四半期純利益		426	322

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

COMMENTS

■ 連結損益計算書

売上高はインテリア事業、自動車・車両内装事業ともに増収となり、前年同期比29億2千7百万円増加の371億1千2百万円となりました。

経常利益は持分法による投資利益および負ののれん償却額等により、前年同期に比べて3億2千5百万円増加の10億7千1百万円となりました。

四半期純利益は特別損失として投資有価証券評価損1億1千万円を計上したことにより、前年同期比1億3百万円増加の4億2千6百万円となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期 (平成22年6月1日から 平成22年11月30日まで)	前第2四半期 (平成21年6月1日から 平成21年11月30日まで)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		591	△506
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		△570	△234
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		△1,473	△141
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額		△90	△18
V. 現金及び現金同等物の増減額		△1,542	△901
VI. 現金及び現金同等物の期首残高		8,564	6,529
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高		7,021	5,628

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

COMMENTS

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純利益8億9千8百万円に対し、売上債権の増加21億8千5百万円による減少等があったものの、減価償却費5億5千万円、たな卸資産の減少1億9千8百万円および仕入債務の増加9億3千3百万円による増加等により5億9千1百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出3億9千3百万円および投資有価証券の取得による支出1億6百万円等により5億7千万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは社債の償還による支出13億円等により14億7千3百万円の支出となりました。

■ NHK総合「ビジネス新伝説 ルソンの壺」放送

12月5日放送のNHK総合の経済番組「ビジネス新伝説 ルソンの壺」で当社が取り上げられました。

当社創業の起源である手織緞通や鉄道用椅子張地のモケットをはじめ、カーペットの大衆化のきっかけとなったタフテッドカーペット、ペットボトルリサイクル繊維「スミトロン®」など幅広く取材を受け、130年の歴史に培われた当社ならではの技術と強みがクローズアップされた番組となりました。



■ 「鉄道技術展2010」に出展

環境負荷が小さい大量輸送手段として世界的に鉄道需要が高まるなか、国内で初めての国際的な鉄道技術見本市「鉄道技術展2010」が、「安心・安全・快適・環境・省エネを追求」をテーマに11月10日から3日間、幕張メッセで開催されました。海外大使館・鉄道事業者・車両メーカーをはじめとし国内外の企業約200社が参加し、予想を大きく上回る約14,500名の来場をいただきました。当社は、環境商材「ポリエステルクッション材（スミキューブ）・オレフィン系硬質床材・トリプルフレッシュ®」を中心に出張アピールしました。



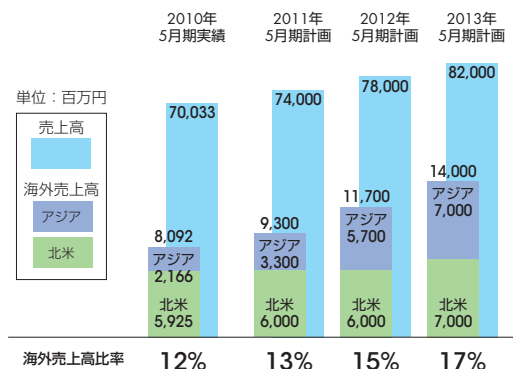
当社グループのグローバル展開について

国内市場の成熟化と海外市場の拡大に対応し、1994年にタイへT.C.H.Suminoe Co., Ltd.を設立して以来、米国やアジア地域に積極的に拠点の整備と販路拡大を推進してまいりました。

当期は中国に自動車・車両内装材の販売を行う住江織物商貿(上海)有限公司とインドにSUMINOE TEIJIN TECHNO KRISHNA INDIA PVT.LTD.を設立し、また、持分法適用関連会社であったタイのT.C.H.Suminoe Co., Ltd.と中国の蘇州住江小出汽車用品有限公司を連結子会社としました。

中期経営計画“Challenge 2012”の基本テーマであるグローバル戦略のもと、海外売上高比率を高め、積極的に事業のグローバル化を進めてまいります。

■ 中期経営計画“Challenge 2012” 海外売上高



当社グループのグローバルマップ

現在、自動車・車両内装事業で米国、中国、タイ、インドに子会社を6社、インドネシアに持分法適用関連会社を1社、機能資材事業でホットカーペットの製造子会社を中国に1社有しております。



企業データ

■ 会社の概要 (平成22年11月30日現在)

本 社

大阪市中央区南船場3-11-20

大阪支店

大阪市中央区南船場3-11-20

東京支店

東京都品川区西五反田2-30-4 BR五反田ビル

奈良事業所

奈良県生駒郡安堵町大字窪田634-1

大阪事業所

大阪府松原市大堀1-5-8

滋賀事業所

滋賀県甲賀市甲賀町神保53-5

京都美術工芸所

京都市上京区新町通今出川上る元新在家町167-2

合資会社創立 大正2年12月25日

株式会社設立 昭和5年12月26日

資 本 金 9,554,173,950円

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
大阪証券取引所 市場第一部

従 業 員 数 240名 (連結 2,143名)

■ 主要な事業内容

<インテリア事業>…カーペット、カーテン、壁紙、
各種床材 等

<自動車・車両内装事業>…自動車・バス・鉄道車両・航空機等の
内装材

<機能資材事業>…ホットカーペット、消臭関連商材 等

■ 主要なグループ企業 (平成22年11月30日現在)

○ 国 内

株式会社スミノエ

インテリア製品の企画・販売

ルノン株式会社

壁紙を中心としたインテリア製品の
企画・販売

住江物流株式会社

インテリア製品の保管・加工

スミノエ テイジン テクノ
株式会社

自動車内装材の製造・販売

住江奈良株式会社

カーペットの製造・加工

住江甲賀株式会社

スミトロン糸の製造、不織布の加工

○ 海 外

Suminoe Textile of
America Corporation

米国
自動車用内装材の製造・販売

住江互太 (広州) 汽車
繊維製品有限公司

中国
自動車用内装材の製造・販売

蘇州住江小出汽車用品
有限公司

中国
自動車用内装用品の開発・製造

住江織物商貿 (上海)
有限公司

中国
自動車・車両内装材および部品の企画
開発・製造管理・卸売業・輸出入業務

蘇州住江織物有限公司

中国
ホットカーペットの製造

T.C.H.Suminoe Co.,Ltd.

タイ
自動車用内装材の製造・販売

PT.Sinar Suminoe
Indonesia

インドネシア
自動車用内装材の製造・販売

SUMINOE TEIJIN TECHNO
KRISHNA INDIA PVT.LTD.

インド
自動車内装材の販売

株式関連情報

役員 (平成22年11月30日現在)

取締役および監査役

〔代表取締役〕	社 長	吉川 一三
〔代表取締役〕	○常務取締役	小田島 真次
	○常務取締役	吉田 伸次
	○取締役	増川 敏和
	社外取締役	鋤納 健治
	○取締役	谷原 義明
	○取締役	川端 省三
	○取締役	北野 泰朗
	○取締役	飯田 均

常勤監査役	巽 誠
社外監査役	足立 哲
社外監査役	山辺 一三男

執行役員

上席執行役員	木村 雅幸
上席執行役員	浦川 徹
上席執行役員	正木 富夫
執行役員	三村 善英
執行役員	國中 聡博
執行役員	松本 全克
執行役員	沢井 之明
執行役員	西山 啓

○の取締役は上席執行役員を兼務いたします。

株式の状況 (平成22年11月30日現在)

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式総数	76,821,626株
株主数	6,814名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社高島屋	9,249	12.24
日本生命保険相互会社	6,272	8.30
丸紅株式会社	3,665	4.85
株式会社みずほコーポレート銀行	2,345	3.10
トヨタ自動車株式会社	2,240	2.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託ユニチカ口)	1,788	2.37
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,742	2.31
住江織物共栄会	1,657	2.19
住江織物従業員持株会	1,518	2.01
株式会社池田泉州銀行	1,475	1.95

(注) 1.持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2.持株比率は自己株式(1,259,976株)を控除して計算しております。

▽本報告書、株式に関するお問い合わせ先

住江織物株式会社 本社総務部
TEL:06-6251-6801 FAX:06-6251-0862

株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで	公告方法	電子公告 (当社ホームページ http://suminoe.jp/ir/ に掲載) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する。
定時株主総会	毎年8月	単元株式数	1,000株
基準日			
定時株主総会	毎年5月31日		
期末配当金	毎年5月31日		
中間配当金	毎年11月30日		
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部		

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスタース証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	
		単元未満株式の買増・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

株式事務に関するご案内

1. 単元未満株式の買増・買増制度のご案内

当社では、単元株式（1,000株）に満たない株式の買増を行う「単元未満株式買増制度」のほか、単元株式（1,000株）に不足する株式を買い増し、単元株式としていただくことができる「単元未満株式買増制度」を導入しておりますのでご利用ください。

お手続きにつきましては、上記のお問い合わせ先フリーダイヤルにお申し出ください。



2. 特別口座について

特別口座では、株式のご売却はできません。

証券会社に口座を開設いただき、お持ちの株式を当該口座に振り替えていただきますと、株式のご売却が可能となるばかりでなく、お持ちの株式の管理や株式に関するお手続きも当該証券会社で一括して行えるようになり便利です。



※このレポートには、再生紙を使用しています。
インキは環境負荷の小さな植物油インキを使用しています。